

【必要な資格】 刈払機取扱作業者・ロープ高所作業特別教育・伐木の業務に関わる特別教育

準備工	内 容	留 意 事 項
作業開始	<ul style="list-style-type: none"> 作業打合わせ(KY活動) 作業位置の確認 作業人員の確認 使用機械・工具の点検 保護具の確認 側道部沿線に駐車してある車両・家屋の把握 飛散ネットの点検 現場出入りの確認 現場進入 	<ul style="list-style-type: none"> リスクアセスメントによる危険予知の実施 発生草搬入場所の確認も行う 作業分担・配置の確認 資格の確認 ※作業責任者が任命する。 車両運行前・使用機械安全装置の点検確認 保護具の損傷がないか点検を行う。(使用機械別保護具を参照) 駐車車両及び家屋に損傷等を与えるおそれがある場合飛散ネットの使用で作業を行う 手持ちネットの損傷確認、損傷のある場合は補修を行うか使用できない場合は担当者へ報告をする 現場出入り箇所の確認(開口部の確認、アルミ(トラック用)ステップ、ロープの用意) 近くにフェンス開口部がある箇所は開口部より出入りをする フェンス開口部が近くにない場合は、アルミ(トラック用)ステップを立ち入り防止柵にしっかりと固定して乗り越える Go擁壁、ブロック積、勾配のきつい箇所へは乗り越え箇所を設けない、平坦な箇所を選定する ヘッドとシャフトの連結部などは作業前に必ず工具を使用してゆるみの無いことを確認すること 作業前に安全靴の選定をする。(土踏まず部分の切欠きされた安全靴は使用しない) 作業前に通路を確保しておく。
ケーブル確認 危険物の除去	<ul style="list-style-type: none"> 現場到着後、リスクアセスメントによる現場KYの実施 ケーブル露出箇所の確認 危険物(ゴミ等)の除去 	<ul style="list-style-type: none"> 年間ケーブル協議書に準じてケーブル防護を行い作業を行う(年間協議書参照) ケーブルの周りをカマ等人力で刈取(直径2m程度)目印つける 刈り手にケーブル場所の説明を行う 危険物(ゴミなど)は前もって除去する ゴミ等は指定された仮置き場に集積する
刈込み及び草集め	<ul style="list-style-type: none"> 法面の草を刈り払い機にて刈り込む 遮音壁コンクリート板からツタを除去する 遮音壁吸音板からツタを除去する 遮音壁から除去したツタ・刈草の集草 	<ul style="list-style-type: none"> 保護具は使用機械別使用保護具を参照 本線で遮音壁のツタ除去作業を行うときはトリマー式刈払機を使用する 刈り手、寄せ手の作業間隔充分開ける(5m程度) 切り株のない通路が確保できる場合はそちらを通路として、切り株のある場所は通路として使用しない。 SDS(安全データシート)の確認 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 架空線のある場合は管理者と協議を行う 手持ちネットからはみ出での刈り込みの禁止 のり面等急勾配等で作業するので足元確認 上下作業の禁止 作業前にハチの巣および周囲の確認を行う。 高さ2m以上、40度以上の斜面における作業は身体保持器具を使用する。(フルハーネス・親綱) メンテ保有エッジトリマー使用にあつては本体から刃先に向けて20cm程カバーをした機械を使用する。なお、滑止めも取付ける 協力会社持ち込みトリマーに関しては協議をその都度行ってから作業を行う ポールヘッドトリマーを使用する。(刈払用トリマー・竿式トリマーでも可) 駐車車両及び家屋に損傷等を与えるおそれがある場合飛散ネットの使用で作業を行う ネットの使用が困難なときは手カマ等で人力作業か一時保留し後日、車両が無い時に作業を行う等の検討する。 交通量の多い側道部・安全が確認できない現場では監視員を配置し作業員と監視員とで合図等打ち合わせを行い作業を行う カマ・ナタ使用作業時の作業間隔を十分に開ける(3m以上) 作業機械に異物が挟まった場合はエンジンを停止してから取り除くこと トリマー式刈払機使用時はキックバックに注意する。
積込み	<ul style="list-style-type: none"> バックカー車及びトラックに積込み 	<ul style="list-style-type: none"> 車両は安全な場所に駐車する バックカー車積み込み作業手順書による
仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 排水溝内、積込み箇所の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 排水溝内に刈った草はないか、積込後の草は散乱していないか確認する
草運搬	<ul style="list-style-type: none"> 指定された処分場に運搬する 	<ul style="list-style-type: none"> 一般道を回送するので法定速度十分注意(交通規則の遵守) トラックの積荷確認、バックカー車のゲートロック確認確實実行
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 作業現場の確認・点検 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の車両及び家屋の確認 使用機械の置き忘れ等の確認 リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談すること

注意事項

- 発生草は指定された場所以外の搬入禁止
- ケーブル露出箇所、刈り払い機使用禁止(絶対切断してはならない)
- 刈り手は使用機会別使用保護具に準じて作業を行う
- 夏期ハチ注意(殺虫剤の携帯)・蛇注意
- 役職者で定期的(現場を巡回し、出来型・安全管理等のチェックを行う。(H.15.12.12更正で追加))
- 監視員を配置し通行車両の通行時は作業員に知らせ作業を中断する。
- 保護具は使用機械別使用保護具を参照
- 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し使用する。
- 1人作業の禁止
- 有資格者により作業を行う。(資格証を所持する)

- 安全器具・保護具確認
- ヘルメット・安全チョッキ
- 殺虫剤・ボイズンリムバー・熱中症グッズ・涼しん帽
- 使用機械別使用保護具を参照
- 【ケーブル事故防止対策】コンパネ・シュート
- 「蜂抗体検査レベル3以上」の方：エビベン
- 使用機械
- ノコギリ・カマ・ナタ・刈り払い機・トリマー式刈り払い機